

園芸科学科

1年産業視察研修「先進地農家研修」

10月15日(火)島原半島内の先進農家(草花・野菜・果樹)をめぐり、農業経営者としての心構えや経営の特徴などを、各農場を見学しながら研修を行いました。

①平田真児 様(瑞穂町・草花農家)

約2,400坪の温室を利用し、キクの周年栽培を実践される。地元の野菜農家から後継を機にキク栽培へ作目を変換、規模拡大を図りながら現在地元の農家と共に関東を中心に出荷されている。県を代表する生産者を目指し、高品質のキク栽培に取り組まれている。

②宮本達也 様(愛野町・野菜農家)

(株)エムピーフーズを設立し現在3年目、ジャガイモとレタス栽培を主に県内外の業者と直接契約し出荷販売されている。また加工場を設け規格外ジャガイモの加工販売を実践される。ヒマワリ緑肥を取り入れ、高品質・高付加価値栽培に取り組まれている。

③廣瀬丈洋 様(深江町・果樹農家)

ミカン・タマネギ・ブロッコリー栽培を軸に、10数品種のブドウを栽培し、収穫体験ができる観光農園を手掛けている。新鮮な味を直接お客様に提供し、意見が聞ける観光農園の拡大・充実に取り組み、今後ジュース等加工品の製作販売を目指されている。

どの農家も熱く今後の展望を語られ、とても参考になる有意義な研修となりました。



平田様から説明(左側)



温室内見学



平田様から説明



加工場見学



廣瀬様から説明(右側)



ミカン収穫体験・試食